

第54期

環境経営レポート

(活動期間:2023年7月～2024年6月)



発行日 2024年 9月 13日

有限会社 依田紙器製作所

1.事業所の概要・対象範囲

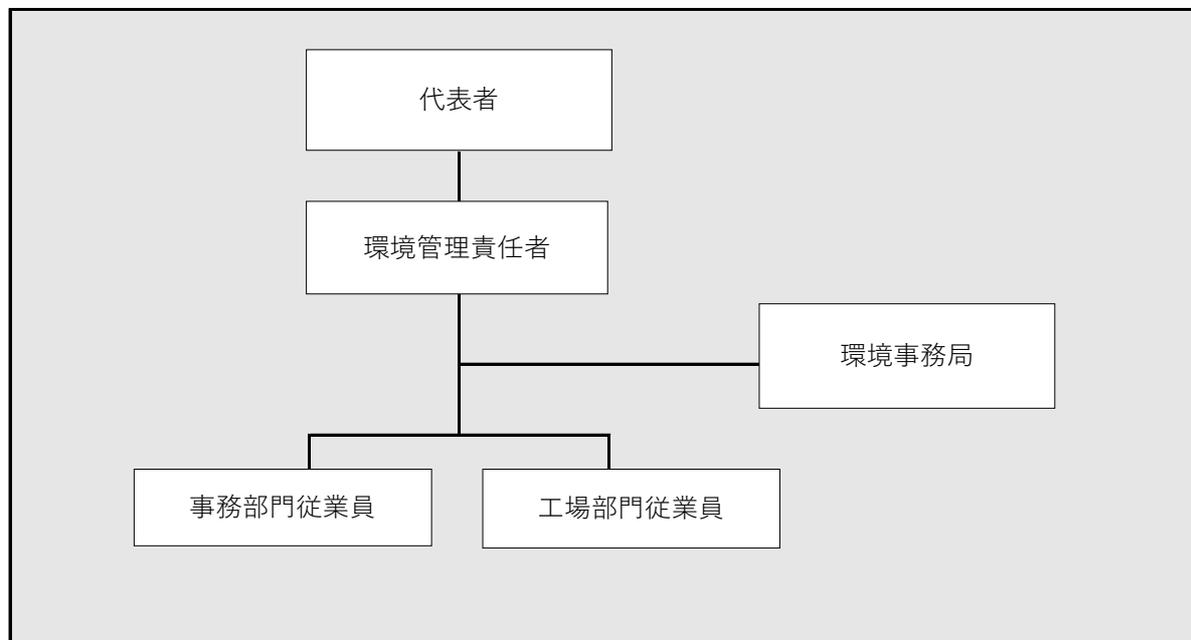
- (1) 事業所名
有限会社依田紙器製作所
- (2) 代表者名
代表取締役社長 依田 正
- (3) 事業所及び所在地
〒386-0412
長野県上田市御岳堂原山2515-11
- (4) 事業年度
事業年度(活動年度) 7月～翌年6月
- (5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 専務取締役工場長 依田 久
環境担当者 営業部長 依田 基義
連絡先 TEL : 0268-42-2208
FAX : 0268-43-0435
E-mail : yodashiki@celery.ocn.ne.jp
- (6) 事業内容
段ボール製品の製造・企画・販売



- (7) 事業の規模 (2023年7月～2024年6月)
- | | | |
|-------|---------------------|--------|
| 年間出荷額 | 320百万円 | (第54期) |
| 従業員数 | 11名 | |
| 延べ床面積 | 1402 m ² | |
- (8) 対象範囲
- | | |
|-------|-----------------------|
| 登録組織名 | 有限会社依田紙器製作所 |
| 事業所 | 本社工場(全組織対象) |
| 活動 | 段ボール製品の製造・企画・販売 (全活動) |

1-2.環境経営組織図及び役割・責任・権限表

エコアクション2.1 環境経営組織図



・ 役割・責任と権限

職名	役割
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する総括責任 ・ 環境経営システムに必要な資源(人員・設備・費用・時間など)の準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定、見直し、及び全従業員への周知 ・ 環境経営目標・環境経営計画書の承認 ・ 代表者による評価と見直し、指示 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営マネジメントシステム(EA21)の構築、運用、管理 ・ 環境関連法規制等の要求事項登録簿の作成・承認 ・ 環境経営目標・環境経営計画書の確認 ・ 環境活動の取組状況の社長への報告 ・ 外部からの苦情・要望の対応責任 ・ 教育訓練計画の策定、教育の実施 ・ 環境経営レポートの作成
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営マネジメントシステム(EA21)の構築、実施、推進 ・ 環境管理責任者の補佐、環境管理委員会の事務局 ・ 環境負荷・取組の自己チェックの実施 ・ 外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・ 環境経営目標の作成・環境経営計画書の作成・環境活動の実施 ・ 環境経営計画の取組み確認(パトロール・記録)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針を理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加

3.環境経営方針

[経営理念]

発想・向上・感謝での物づくり、社会に信頼される存在として未来に向かい、一人ひとりが自覚と責任のもと、限りなく挑戦します。

[環境経営理念]

経営理念を実現するため、地球環境を守ることを最重要事項のひとつとして位置づけ段ボール製品の製造・企画・販売等の事業活動において、積極的に環境への負荷削減活動を全社員が一丸となって努め、環境と調和する技術を通して社会に貢献します。

[環境保全への行動指針]

1. 事業活動を通じて、創意工夫により二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組めます。
特に、燃料の節約及び排出ガスの抑制を図り、環境負荷の低減に努めます。
2. 事業活動を通じて、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組めます。
3. 事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組めます。
4. グリーン購入を積極的に推進します。
5. 全製品の製造工程及びサービスで、環境に配慮した取組みをします。
6. 環境関連法規及びその他の要求事項を遵守します。また、環境関連法規等要求事項は常に最新のものとなるように管理します。
7. 本方針を提示・訓示・教育等により、全従業員に周知徹底し、その推進と維持に努め事業の発展をはかります。

改定日 2021年 7月 1日

有限会社 依田紙器製作所
代表取締役

依田 正

※評価基準は売上高増に伴い46期から原単位で判別しています。

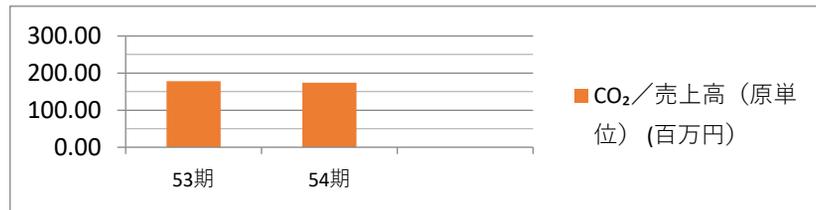
※基準年度（基準値）再設定 52期

54期（2023年7月～2024年6月）

◎温室効果ガス排出量、二酸化炭素排出量削減

購入電力・化石燃料・廃プラスチックを全体活動として実施展開する。

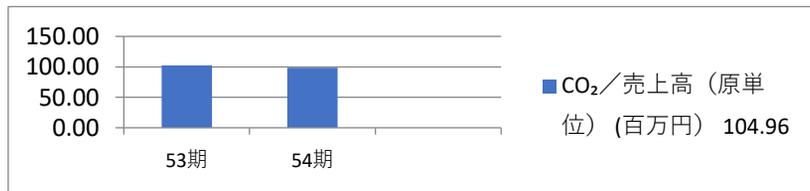
	基準値(52期)	53期	54期	
二酸化炭素排出量の削減	再設定	1%削減	2%削減	
二酸化炭素排出量削減目標 (kg-CO ₂)		55,294(184.93)	54,735(183.06)	
実績 (kg-CO ₂)	55,853	54,885	55,705	
CO ₂ /売上高(原単位) (百万円)	186.80	177.62	174.08	
評価	—	○	○	



①電力使用量の削減、二酸化炭素排出量削減

全体活動として各部門毎に照明、冷暖房、生産設備使用の効率化運転を実施展開する。

	基準値(52期)	53期	54期	
電力使用量の削減	再設定	1%削減	2%削減	
二酸化炭素排出量削減目標 (kg-CO ₂)		31,068(103.91)	30,765(102.86)	
実績 (kg-CO ₂)	31,382	31,641	31,514	
CO ₂ /売上高(原単位) (百万円)	104.96	102.40	98.48	
評価	—	○	○	

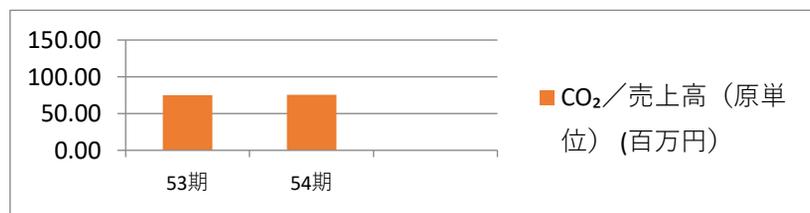


※CO₂排出係数 : 0.480kg-CO₂/kwh

②化石燃料の削減

製品の配送、暖房、社用車等、事業活動で消費する化石燃料を節約し、排出量を削減する。

	基準値(52期)	53期	54期	
化石燃料の削減	再設定	1%削減	2%削減	
二酸化炭素排出量削減目標 (kg-CO ₂)		24,225(81.02)	23,981(80.20)	
実績 (kg-CO ₂)	24,470	23,244	24,190	
CO ₂ /売上高(原単位) (百万円)	81.84	75.22	75.59	
評価	—	○	○	

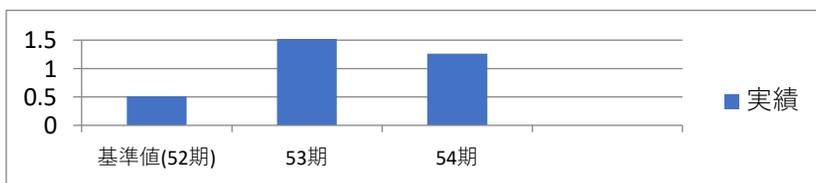


③一般廃棄物量・産業廃棄物の削減

事業活動で、可燃ごみの削減と紙のリサイクル化を推進する。

※ここでは再資源化できる廃棄物は数値に含めていません。

	基準値(52期)	53期	54期	
一般・産廃廃棄物量の削減目標	再設定	1%削減	2%削減	
排出量削減 (t)		0.505(0.00168)	0.500(0.00167)	
実績 (t)	0.51	1.79	1.26	
t/売上高(原単位) (百万円)	0.0017	0.0058	0.00394	
評価	—	×	×	



4.環境経営目標・実績・評価 No.2

※評価基準は売上高増に伴い46期から原単位で判別しています。

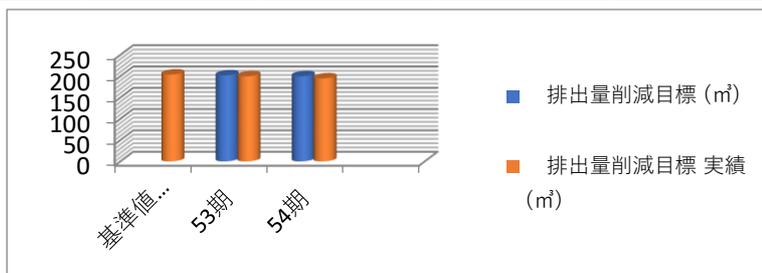
※基準年度（基準値）再設定 52期

54期（2023年7月～2024年6月）

④用水の節約

生活用水の節約と環境配慮への意識の高揚を図る。

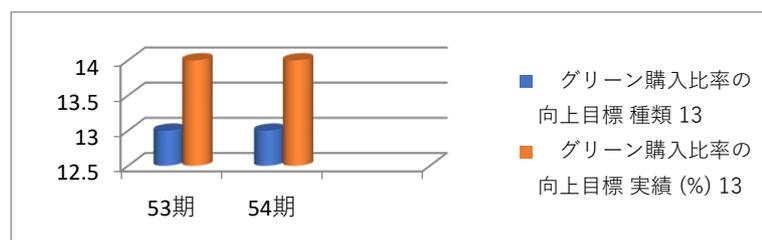
	基準値(52期)	53期	54期	
用水の節約	再設定	1%削減(0.675)	2%削減	
排出量削減目標 (m ³)		202	200	
実績 (m ³)	204	200	195	
m ² /売上高(原単位) (百万円)	0.682	0.647	0.609	
評価	—	○	○	



⑤グリーン購入

購入文具、コピー用紙の購入比率を高める。

	基準値(52期)	53期	54期	
グリーン購入		1%削減	2%削減	
グリーン購入比率の向上目標 種類	13	13	13	
実績 (%)	13	14	14	
評価	—	○	○	



⑥製造工程及びサービスで、環境に配慮した取組

製造工程及びサービスで、環境(古紙排出量の削減)に配慮した取組をします。

端材のムダ(不要印版・木型処分)、有効活用

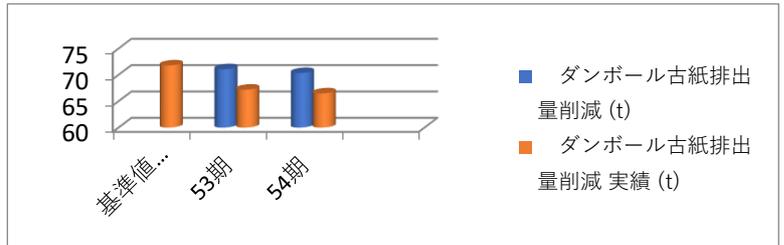
	基準値(52期)	53期	54期	
製造工程・サービスでの取組	マスター見直し化%	継続	継続	
保守マスターの見直し・整理 (マスター化件)	5100	5100	5100	
実績 (マスター化・見直し件%)	5380	5400	5500	
評価	—	○	○	

※評価基準は売上高増に伴い46期から原単位で判別しています。
 ※基準年度（基準値）再設定 52期
 54期（2023年7月～2024年6月）

⑦ダンボール古紙排出量の削減

最低貼合寸法・端材のムダ、有効活用

	基準値(52期)	53期	54期	
製造工程・サービスでの取組 ダンボール古紙排出量削減 (t)	再設定	1%削減(0.238)	2%削減	
実績 (t)	71.8	67.2	66.5	
t/売上高(原単位) (百万円)	0.240	0.217	0.208	
評価	—	○	○	



新規作成印版に

リサイクルマーク印刷の推奨

段ボールの分別を容易にするために、

みなさまのご協力をお願いします。

- ・大切な商品を安全に保護する目的で利用される段ボールは、その役目を終えたのち、段ボールの主原料として何度もリサイクルされます。
- ・これらの段ボールにリサイクルマークを表示することにより、次のような効果が期待されます。

- ◎消費者の分別が容易になります。
- ◎市町村の分別収集が促進されます。
- ◎異物の混入が避けられリサイクルの品質が向上します。

段ボールのリサイクルマーク 運用方法 「段ボールのリサイクルマーク」は、リサイクル可能な全ての段ボールに適用されます。

基本デザイン
 マークは「国際リサイクルシンボル」と「ダンボール」の文字を組み合わせます。

表示サイズ
 印刷方法により再利用率に差が生じるため、表示サイズが異なる場合があります。

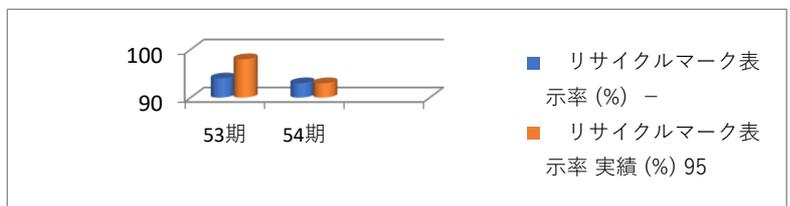
色と表示場所
 段ボールの印刷に用いる色のうち、黒色を優先して表示してください。

ごん身ごみ
 紙類の分別収集に際しては、紙類の分別収集で廃棄されているものです。

⑧新規作成印版にリサイクルマーク印刷の推奨

お客様に印刷効果の説明と推奨の継続

	基準値(52期)	53期	54期	
新規品リサイクルマークの表示率				
リサイクルマーク表示率 (%)	—	94	93	
実績 (%)	95	98	93	
評価	—	○	○	



5.主な環境経営計画の判定と次年度の取組み

責任者	事務局
依田 久	依田 基義

作成 2024年 8月 9日

環境経営方針	環境経営計画			判定	55期(△3%) 2024.7~2025.6 (基準年 52期) 数値基準内監視
	項目	52期(基準年) 2021.7~2022.6 (再設定)	54期(△2%) 2023.7~2024.6		
二酸化炭素 目標実績		55,853(原単位 186.80)	54,736(原単位 183.06)	○	54,177(原単位 181.20)
電力使用量 目標実績		31,382(原単位 104.96)	30,754(原単位 102.86)	○	30,441(原単位 101.81)
1 事業活動を通じて 二酸化炭素の発生抑制、 排出削減に取組みます。 特に燃料の節約及び 排出ガスの抑制を図り、 環境負荷低減に努めます。	①電力使用量 工場・事務所から 輩出される二酸化 炭素の削減。	省エネ活動を推進する。 使用電力を1%削減	1-②-(1)、1-①-(3) 使用電力の削減 水銀灯から交換(随時) ・LEDライト部分的に導入申請	○	継続 ・節電の周知・徹底 LED導入検討(申請中) ・契約内容見直し
			1-①-(2) エアコンの設定温度を管理 ・夏 27~28度 ・冬 23度	○	継続 ・こまめな清掃 ⇒温度設定に大きく影響
	②化石燃料 車両から排出される 二酸化炭素の削減。	運搬車両の平均燃費を1%向上	化石燃料の削減 ・各車両の燃料使用量の 月別測定・監視 1-②-(1) アイドリングストップ ・エコドライブの徹底 ・配送分担による時間短縮 ・配送ルート効率化・見直し 1-②-(2)	○	継続 ・各車両の燃料使用量の 月別測定・監視 ・灯油数値基準内監視へ
				○	継続 ・得意先納期調整による 配送効率化 ・分担による時間短縮
2 事業活動を通じて一般 廃棄物及び産業廃棄物の 発生抑制排出削減に 取組みます。	③廃棄物	端材ダンボール屑、紐等 梱包資材の再資源化を推進する 廃棄物2%削減	2-③-(1) ごみの分別 ・廃棄物分別ごとの記録 ・不用品廃棄 ⇒整理整頓による業務効率化 ・不要印版・木型の処分	○	継続 ・端材のリユース提案 ・不用品の整理 ・材料の過剰仕入削減 ・組立製品増産のため不良率 削減の徹底・指導
3 事業活動を通じて 総排水量(水総使用量)の 抑制、削減に取組みます。	④用水の節約 水の総使用量削減	使用水量を節水する 2%削減	3-④-(1) 水質資源の削減 ・一人一人の意識付を徹底し こまめに蛇口を閉閉し節水 に心がける ・手洗い場・版洗浄場に 「節水」を呼びかける表示	○	継続 ・印版洗浄の見直し ⇒まとめて洗浄 ⇒洗浄水の使い直し
4 グリーン購入推進	⑤グリーン購入	グリーン購入対象商品の調査・ 購入など1種類以上の切替	グリーン購入 ・グリーン購入可能な 事務用品の購入先見直し	○	購入先追加(NEC)
5 全製品の製造工程及び サービスで環境に 配慮した取組みをします。	⑥製造、サービス 製造工程の見直しを 推進。	・印刷機工程のスピード見直し 最適適合寸法の調査など ロス率/不良率低減	・PC,設計書の整理 ・紙ベース管理削減 材料収率の向上 ・端材有効活用	○	継続 ・不要印版・木型処分 ・ロス率/リサイクル率低減 ・PC,設計書の整理 ・各製品の工程見直し ・過剰在庫削減
	⑦古紙排出量の削減	・端材有効活用		○	
	⑧協力会社との 連携による拡販、 また効率的な 生産体制構築	・販路拡販 ・人材育成	・業務委託生産で受注確保 ・複数の協力会社との連携で 売上拡販 ・自社生産の効率化向上	○	継続 ・協力会社との関係強化 ・県外受注の拡販
	⑨リサイクルマーク推奨		・客先リサイクルマーク印刷推奨	○	継続

※判定評価は月1実施のパトロール点検表をもとに環境責任者が評価・指導を行っております。

7.環境経営活動の主な取組風景No.1

1. エコアクション会議



自覚教育の実施
取組みへの協力呼び掛け

2. 各従業員目標設定



3. 月1回の社内外清掃風景・草刈り、土取り



4. エアコンの温度管理



5. 節水・節電の呼びかけ



6. 鳥害予防 軒下ネット貼り



7.環境経営活動の主な取組風景No.2

7. 虫害予防消毒



8. 畦畔の草刈



9. 油吸着マット



10. 不要印版の収集・廃棄



11. 消火訓練



12. 防火用水補充・確認



8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び

1. 環境関連法規等の遵守状況の確認、評価

	法規制等の名称	法律	条例	規制内容	遵守評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○		・ 産業廃棄物処理委託契約、許可証の確認 ・ マニフェストの交付期日確認と5年間の保存義務 ・ マニフェストの交付状況報告書の作成及び県知事への提出	○
2	消防法(上田市広域連合火災予防)	○	○	・ 消防用設備等点検結果報告書 ・ 第4類 灯油(200ℓ)	○
3	下水道法 上田市下水道条例		○	・ PH管理、節水	○
4	上田市環境基本条例		○	・ 事業者の責務	○
5	フロン排出抑制法	○		・ 事業者の責務	○

2. 法規への違反、訴訟等の有無

現在までに、前項環境関連法規への違反は一切ありません。
また、地域周辺及び関係機関からの訴訟及び苦情等もありません。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去4年間ありません。
遵守評価は環境管理責任者が2024年6月28日に行いました。

9. 代表者による評価、見直し・指示

エコアクション21の取り組みが認証・登録を受けてから12年が経ちました。
基準年度を52期数値に再設定して2年目の活動報告となります。
変わらず世界情勢が安定しないため資材等の価格上昇や水道光熱費の高騰がとても気がかりな1年でした。
ですが、年間を通してみると目標値をクリアしている分野が多く、日々の効率化が形になった印象を受けています。
4月頃からは費用面だけでなく、受注状況も思わしくなく、次年度は見直ししていく必要があると感じております。
人の部分でも入替があったりと改めて構築していく必要がありますが、
これは逆にチャンスと捉え、今まで手を付けてこれなかった部分も効率化を図って仕事環境を整え、
更なる品質向上と信頼を勝ち取れる組織作りに邁進していければと考えております。
こんな情勢下でも仕事があることに感謝して私達にできることはないか考えながら
さらなる作業効率の向上を目指して取り組んでいきたいと思っております。改善活動にゴールはありません。
弊社の経営理念のもと限りない挑戦をし続け、『お客様から愛される企業』を目指すことを指示します。

方針、計画、システムについては変更しない。

2024年 8月 12日
有限会社依田紙器製作所
代表取締役社長 依田 正